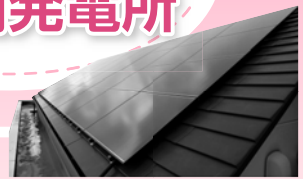




自然エネルギーは 地域のもの

No.28

コナン市民
共同発電所



電力の見える化事業を分析しました

平成24年度から実施している「電力の見える化事業」を立命館大学情報理工学部谷口研究室の協力のもと、分析しました。

平成25年12月から平成26年11月の1年間に、市内の一般家庭20世帯で計測した電力消費と太陽光発電量の結果を使い、文部科学省「地域イノベーション戦略支援プログラム」の研究結果である、電力を自動取引する人工知能エージェントを使って、シミュレーションを行いました。その結果から、太陽光パネルと蓄電池の価格がいくらになれば、それらを使って電力を地産地消することに経済的メリットが生じるかを分析しました。

分析から、太陽光パネルの価格が約45[万円/kWp]、蓄電池の価格が約15[万円/kWh]を下回るようになれば、湖南省でもこれらを導入することが経済的に見合うようになってくると予想されました。

(協力:立命館大学谷口研究室・矢野史朗)[出典:矢野他電気学会論文誌C, 2014-12]

電力見える化サイトはホームページで見ることができます。



☎地域エネルギー課(東庁舎)

☎71・2302 ☎72・2000

コナン市民 共同発電所の発電結果

・初号機 (バンバン発電所)

期間 1月13日～
2月9日

設備容量 20.8kW

発電量 1,170kWh

売電額 50,544円

・式号機 (甲陸発電所)

期間 1月7日～
2月3日

設備容量 105.6kW

発電量 4,348kWh

売電額 187,834円

また、小さい頃から楽器に触れることで情操教育の一翼を担うだけでなく、週3回の練習と数々の公演をこなしており、多くのコンクールで優秀な成績を収めています。関西アンサンブルコンテストで金賞を受賞したのははじめ、瀬戸口藤吉翁記念行進曲コンクールや中部日本吹奏楽

先月22日に甲西文化ホールで甲西吹奏楽団ジュニアバンドによる第12回定期演奏会が開かれました。ジュニアバンドは、学校の週休2日制を受けて、子どもたちの居場所づくりをめざして平成14年に設立された全国でも珍しい本格的な吹奏楽団編成による子どもだけの市民バンドです。小学2年生から中学2年生で構成されており、今ではあまり体験することのできない学校を越えて幅広い異年齢での仲間づくりができます。



また、小さい頃から楽器に触れることで情操教育の一翼を担うだけでなく、週3回の練習と数々の公演をこなしており、多くのコンクールで優秀な成績を収めています。関西アンサンブルコンテストで金賞を受賞したのははじめ、瀬戸口藤吉翁記念行進曲コンクールや中部日本吹奏楽

今回の定期演奏会も、毎年丁寧に指導いただいた岩井先生の楽曲を中心に構成されましたが、素晴らしい迫力の演奏でした。湖南省内には、市民バンドとしての甲西吹奏楽団や甲西高校吹奏楽部、石部高校吹奏楽部が活動しており、各中学校や小学校でもブラスが盛んです。それだけではなく、市民の間ではコーラスやバンドなど、さまざまな音楽文化が深く根付いています。こなんアンサンブルフェスティバルや早春コンサート、きらめきコンサートのほか、神社やお寺などを会場にした音楽会も楽しまれています。ジュニアバンドの団員も募集されていますので、楽譜が読めないお子様もふるってご参加ください。

コンクールなどでの銀賞、滋賀県吹奏楽コンクールやアンサンブルコンテストでの金賞など素晴らしい活躍をしてくれています。昨年5月に90歳で亡くなった「吹奏楽ポップスの父」である岩井直博先生に、市歌の作曲と市の音楽文化の向上に貢献いただいたことで10月には特別表彰をしましたが、岩井先生は人一倍ジュニアバンドの成長を気にかけておられました。